

直径40センチのヒトデ

京大白浜水族館で展示

白浜町臨海の京都大学白浜水族館は、直径約40センチもある南方系の大きなヒトデ「コブヒトデモドキ」の飼育展示を始めた。

同町東白浜、漁業岩城弘司さんがこのほど、同町阪田の水深2メートルの砂底でウニを採集していたときに発見、同水族館に持ち込んだ。中心から腕

の先端までの長さ(幅長)が、くちょう(こ)が19.4センチあり、この種としては最大級という。西太平洋の亜熱帯・熱帯域に分布、紀南地方では珍しい

種類。近年、紀伊半島沿岸での記録が増えているが、幅長10センチ前後のものが多く、これほど大型の個体が見つかるのは珍しい。



直径約40センチのコブヒトデモドキ (白浜町の京都大学白浜水族館で)